ボーリング柱状図

調　査　名　第二種漁港　倉橋漁港　港整備交付金事業に伴う業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.	5	1	3	2	1	4	2	0	0	0	2

シートNo.　2

ボーリング名	Bor.No.2 (H29)	調査位置	第二種漁港　倉橋漁港　港整備交付金事業に伴う業務委託			北緯	34° 06' 08.4693"
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所	調査期間	平成29年10月26日～平成29年10月28日			東経	132° 30' 28.4242"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	CDL -14.04m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	
総掘進長	14.00m								

試錐機	東邦地下工機製D-1B型	ハンマー落下用具	半自動型
エンジン	ヤンマーNFD-13型	ポンプ	東邦地下工機BG-3C

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日
	-14.94	0.90	0.90		シルト質砂	緑灰			GL-0.9mまでヘドロ状 木片・貝殻片混入。臭気認める。		
1 2	-17.04	2.10	3.00		シルト混じり礫混じり砂	淡灰			粗砂主体。細粒分含有。 φ2～5mm程度の角礫含有。 GL-2.50m付近礫混入		
3 4	-18.04	1.00	4.00		礫混じりシルト質砂	暗灰	緩い		粗砂主体。細粒分含有。 φ2～5mm程度の角礫若干含有。 GL-3.0m細粒分若干混入。貝殻，腐食物が少量混入。		
	-18.54	0.50	4.50		砂質シルト	淡褐灰		軟らかい	細粒分及び細砂よりなる。		
5 6 7	-21.64	3.10	7.60		礫混じり砂	淡灰	中ぐらい		粗砂主体。 細粒分若干含有。 φ2～5mm程度の角礫含有。		
8	-22.54	0.90	8.50		シルト質砂	褐灰	密な		細砂主体。 GL-8.00m付近粘土分を挟在する。		
9 10 11	-25.04	2.50	11.00		花崗岩	茶褐			花崗岩。 DM級。マサ状を呈する。 指圧で容易に細分化できる。		
12 13 14	-28.04	3.00	14.00		花崗岩				花崗岩。 DH～DM級。マサ状を呈する。 指圧で細分化できる。 ハンマー打撃で鈍い金属音を発する。		
15 16 17 18 19											

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値
1.15	1	1	1	3/30	3
1.45 2.15	3	3	3	9/30	9
2.45 3.15	2	2	1	5/30	5
3.45 4.15	1	1	1	3/30	3
4.45 5.15	4	5	6	15/30	15
5.45 6.15	2	3	7	12/30	12
6.45 7.15	2	4	4	10/30	10
7.45 8.15	8	12	13	33/30	33
8.45 9.15	5	12	19	36/30	36
9.45 10.15	11	14	20	45/30	45
10.45 11.15	15	20	15/5	50/25	60
11.40 12.15	16	34/7		50/17	88
12.32 13.00	50/8			50/8	188
13.08 14.00	14	28	8/8	50/28	54
14.28					

原位置試験

深度 m	試験名及び結果

試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
0.80	A2-1	Ⓐ	比重 含水 粒度 液性 塑性 比重 含水 粒度	
1.15 1.45	P2-1	⊖		10/26
3.15 3.45	P2-2	⊖	比重 含水 粒度 液性 比重 含水 粒度	
4.15 4.45	P2-3	⊖		
5.15 5.45	P2-4	⊖	比重 含水 粒度	
8.15 8.45	P2-5	⊖	比重 含水 粒度	10/27
				10/28